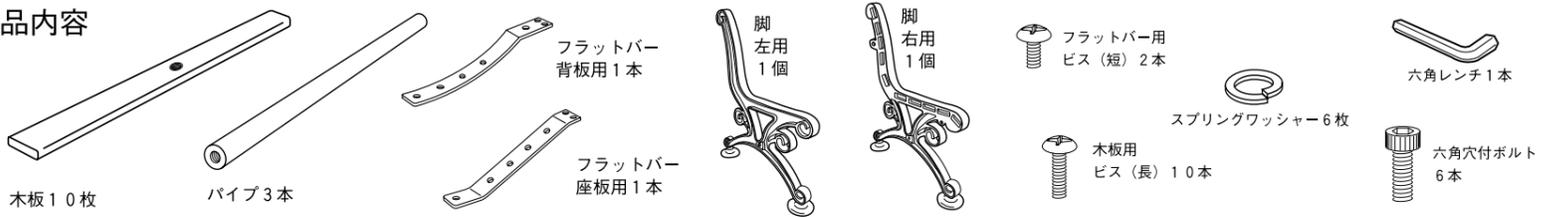


ベンチスワール 組立図

背付タイプ

BC-303-115-1
BC-303-118-1

部品内容



ご使用の際は必ずお守りください

! ご注意

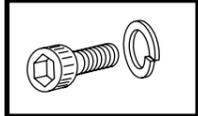
- ベンチの上で立ち上がったり、とびはねたりしないでください。
- ベンチの背の部分に座ったりしないでください。

*組み立て作業は、2人で行うのが早くて楽に組み立てられます。

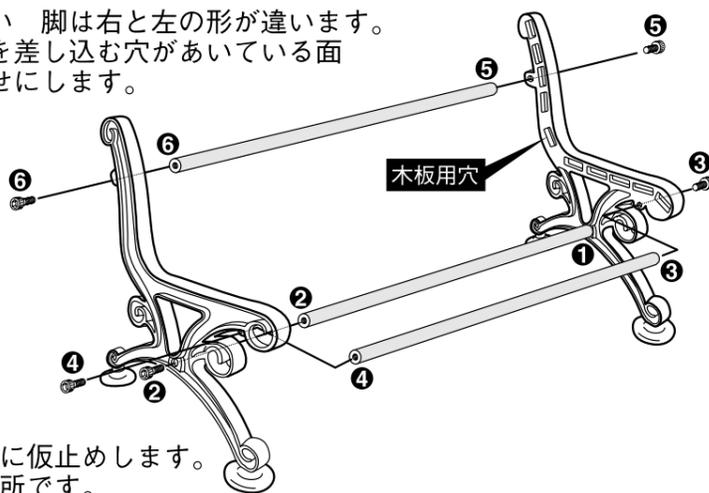
1

- 脚を立ててください。脚は右と左の形が違います。下図のように木板を差し込む穴があいている面どうしを向い合わせにします。

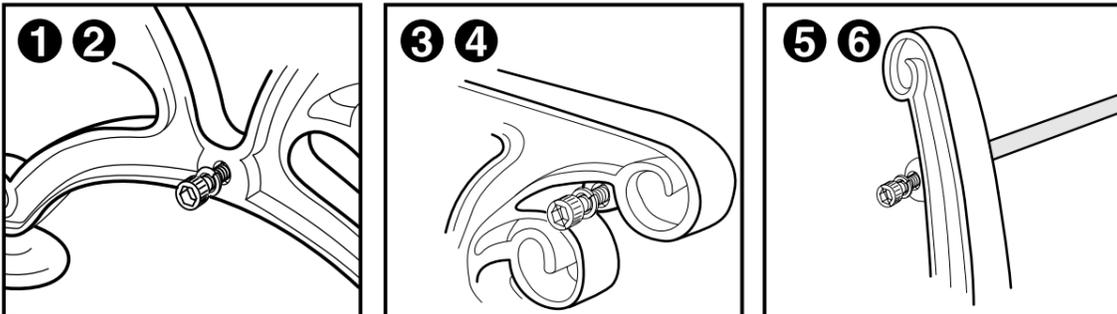
1 2 3 4 5 6



六角穴付ボルト
スプリングワッシャー使用

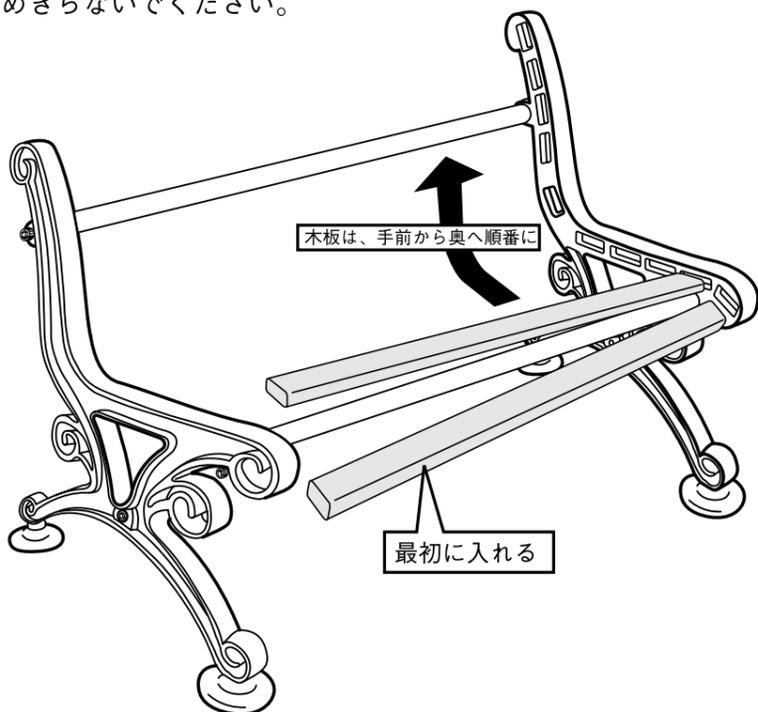


- 次にパイプ3本を順番に脚に仮止めします。取り付けるのは下図の6箇所です。この際、六角穴付ボルトと、スプリングワッシャーを使用し、軽く締めてください。決して締めすぎないように注意してください。順序は上図を参考にしてください。



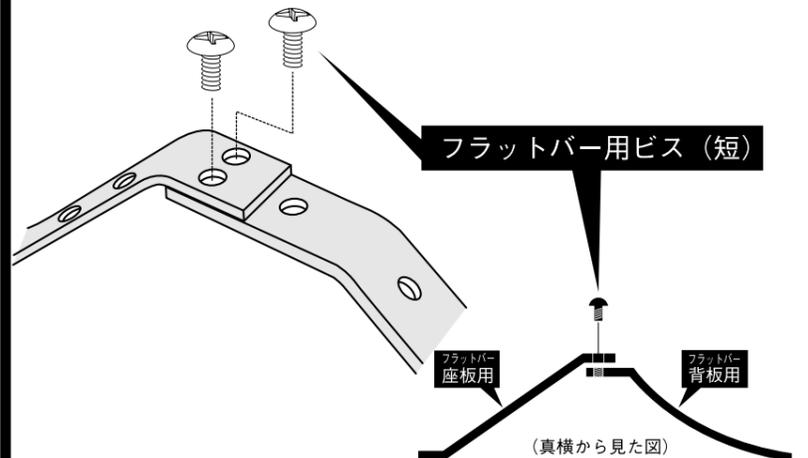
2

- 木板10枚をセットします。下図を参考に片方の脚の穴に木板を入れてから、もう片方の脚の穴に差し込みます。まず、木板の穴を下に向け、一番手前の穴に木板を1本入れた時点で 1 の 3 と 4 の六角穴付ボルトをもう少し締め、順番に2本目、3本目、と同じ要領で木板を入れてください。この時、先に入れた木板が落ちない様に 3 と 4、5 と 6 の六角穴付ボルトの仮止めを少しずつ締めて調整してください。全ての木板のセットが終了しても六角穴付ボルトは完全に締めきらないでください。



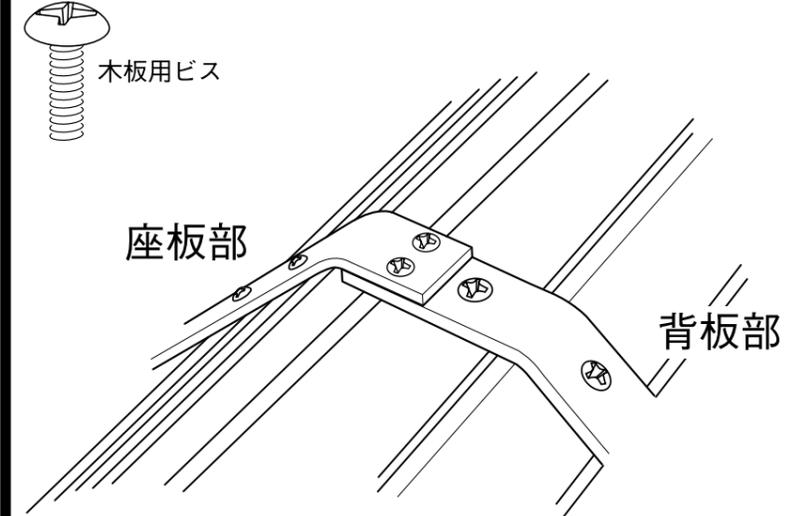
3

- 次にフラットバーどうしをつなぎます。下図を参考に方向に注意してください。この際締める穴は2箇所です。フラットバー用ビス (短) 2本を使用してください。



4

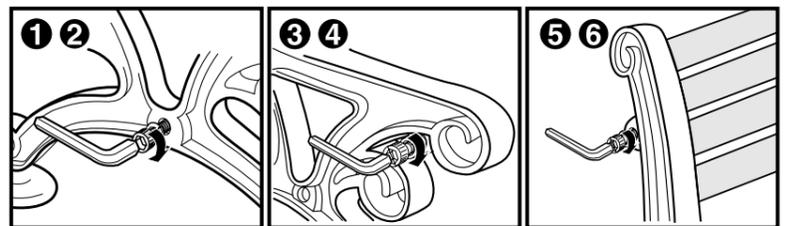
- 次にベンチ本体を裏返し、連結したフラットバーを木板中心部のねじ穴に取り付けます。フラットバーは座板部と背板部の方向が決まっていますので、下図を参照して、間違わないよう注意してください。使用するビスは木板用ビス (長) 10本を使用してください。



背板部、座板部 各5箇所強く締めてください

5

- 1~4の全ての組立が完了しましたらベンチを再び立てて、六角レンチを使って6箇所の六角穴付ボルトを強く締めてください。これで作業は完了です。



*ベンチを設置される際は、地面の凹凸に対してベンチがたつかなくなるまで脚裏のアジャスターを回して調整してください。

*別売部品のご案内

- 本製品の盗難防止、移動防止に備え、脚部を地面に固定するための専用金具『ベンチスワール固定金具』(別売)があります。



毎度テラモト製品を御愛用下さいまして誠にありがとうございます。製品には万全を期しておりますが万一製品に不良もしくは不備な点がございましたらお手数ですが御連絡くださいますようお願い申し上げます。

TERAMOTO 株式会社 テラモト
本社 大阪市西区立売堀3-5-29 TEL06 (6541) 3333
東京本社 千葉県市川市欠真間1-8-23 TEL047 (358) 1151